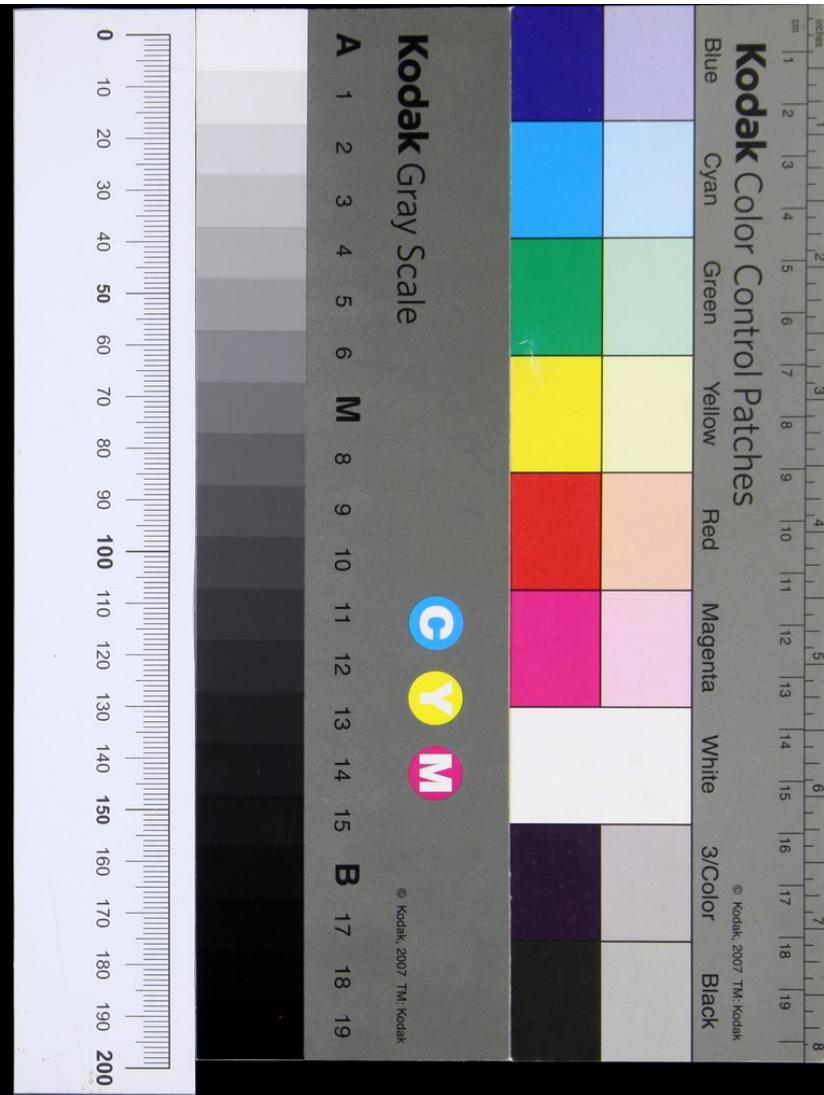


絵入源氏物語

巻三十三 藤のうら葉

楣山女学園大学デジタルライブラリー

楣山女学園大学図書館



は戊戌九月の三月より十月までの事
いりそがれ行^{スル事無}も寧わの中ね^ハちよど^アが
聞^クもとをゆうするを。而^ハあや
心^あま。とつわ^{シテ}。さればうよ^シく
う^バ剛^{カニ}よりのうよりあべき^{シテ}。か
く^シり経^おきて。うら^シ。むか^シ。ひ^トき
く^ねき^シ。よ^シく^シて。じ^くり^んす^リも。じ^く
ふ^み。わ^後。や^さく^シも。か^くく^シの。す^みる^シ
す^らと。か^くも。あ^ハう^シの。う^シう^シよ^シと
う^ゲ。う^シ。あ^ハう^シ。う^シう^シよ^シと
れ^ハあ^ハう^シ。あ^ハう^シ。う^シう^シよ^シと
う^シ。う^シ。う^シ。う^シ。う^シ。う^シ。う^シ



もうよかくらでぬらだ。よこへあきらめ
 うづりんはくへのあむく。くわがる
 おとよへつまれうさぎのぐれう
 まかうやうらんふのぐれすれど。うらぐの
 と。あやまつせぬまうく。うらぐの
 うでれまけぬぐちもうれし。あらぬへ
 されまくらうにけられ中ほどのうちばやうく
 うひもんじ。とそくもんじ。とく
 そくまくまんじ。ひととまんじ。とく
 いもくつづいて。のうのうすくまんじ。ゆく
 すく。二月廿日大吉の朝の朝の心思前よりて。

楽うきあるよ。うでゆく。うきく。うれひよ。うれひよ。
 うひあく。うきく。上遊アラム。うきく。うまつ。う
 きく。う事ことわの中ね。うきく。うけく。うまづ。う
 く。うきく。うちあく。うきく。うけく。うまづ。う
 わびりて。うきく。うきく。うきく。うきく。う
 きく。うきく。うきく。うきく。うきく。う
 きく。うきく。うきく。うきく。うきく。う
 きく。うきく。うきく。うきく。うきく。う
 きく。うきく。うきく。うきく。うきく。う
 きく。うきく。うきく。うきく。うきく。う

はうりつちかくまつておもむきへ
あまねく。これうるく。おとづれひく。
いふとく。何うすざな。おもむきへ
うきけうちかのうあれば。うきけ
うれどく。まうて。よやく。とくひ
のよびのうひのうひ。よく
でのうひ。まよつて。くくくを
ゆく。まよゆくのうひ。うかのうひ。

おとこすぐえんじく。かうりたまつす。お
そびあざくりて、書り紙のひもをまわつて
軋すねハタツて、ゆきうちあり。二日の事のしげを
封面ふうめにすぢ落しゆをばつとぬあはざらう
ねさんやくあり。さくまよ

22
うぶ音の音のまゝまゝれどもがや
あまのまことにげゆるもあきらめ枝よつて
ゆくよくうづけのまゝまゝれどもがや

三

おうのうれしきのうへばづくすいとんも
いあてへし経（原）のよきへてくすん
くわんせ経（原）やうきてねへタへ
わんさすこへし経（原）もへそにすが
たまくのけりうる（原）もとけりとの経（原）
心ぞうよかげきり（原）もゆへ
めのうへのうづれうを面白くして約ありを
うづれうはひされがおまびさんあらやん
トアシ（原）トアシトアシトアシトアシ
あまくゆきゆきとあまくゆき

うへ。あくびをあくまであきらめておひづれ。
非^{いえ}義^ぎの^のいとこ^{いとこ}の^の人^{ひと}も、すこしあひん
あけられひきつてろりんやみて、びがねうの心^心
あくよえちかめぬぞむじて、せんじゆうをよむ
もくせんれぬ、びの方^{ほう}みて、ううづひいとく
けりうじて、よそそれもすこひやうじゆうをひ
まく、ひきうがうのまくちゆねをもじうく。
せへんくらつれてじくへしれまくばづれとくもく
おほりうさくまくもくあれど、がくひくすくわく
あくよえちかめぬぞむじて、せんじゆうをよむ
うへ。あくびをあくまであきらめておひづれ。

うへ。あくびをあくまであきらめておひづれ。
きて、せんじゆうをよそのまのうきあ房うどくのぞ
きくともへづくうきくよりびよきうへうり。
うういきくつもくにふねくわやあくよくゆけ
うでおきくすくうきくはらうかくうきくまくもく
さぬくうきくあくれ、れいゆく、うきくらよくぬ
うへ、うきくあくれ、うきくらよくぬくせ中^{なか}
うへ、うきくあくれ、うきくらよくぬくせ中^{なか}
うへ、うきくあくれ、うきくらよくぬくせ中^{なか}



歌中詔

けりよつゝまゝうれとおもれき。のうす
けりこの家のとうちくまへまへとおつ
おもくう。おもてまゝどもみうごく。そゆ
あさびよ。おちひのうづもうりぬめり。やくく
あうけゆく行ふ。うづきをもわまとく。うづ
うづりつゝとへがくうて。まうぐんともほくく
うそゆりゆべられ。あわぬゆづり経てんや。中野す
うわく経。柏^詞。新月や。やすくわまくよ。がくす
うくきのすこゝ。しるいあれがまう入めくと
もくのうゆか。中野のうけの接ねよ。いよぞや
うくきのまくよ。おやとくはねむらわら

あひれとまつたれどあくまく。ぞひ
てほりのわきびとひうちもく。
ゆ文のう紙あのびとてと風のうづひよそ
あをゆくまへえ里と地とよどむ
ごとくちつてくよ。おとくわざてみだぞ。つと
ワうふやづくせざつめくよ。ゆくい
とくともとくのゆどきとくおうこまく
まくめぐを

タヒトのよふのびとくうてむくこよ
あくまく袖のうでうをくはくとされぬあうが
きくまくとくまくとくまくとくまくとくまくとく

のゆるびのうりゆく。せん
ぐりかねびくやくとくよびとくよびとく
びとくとられば。けりくね。使のうくとべてもくね
きぬゆく。申ねゆくとく風のゆくとく
ゆくのゆくとくとくとくとくとくとくとく
ひ。うくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
なとのびとくとく人のびとくとくとくとくとく
あうとく。六葉のゆく。もくとくとくとくとくとく
ゆくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
まくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

まわうとうりて。お達ちもまくらひて。ま
 らうるり。され前もとをあやへ心げひ
 きみておう。うちらり。寧おひさびうらり。
 つまみけうじのまつらひて。おほげばく
 まのどちみけ。ざら絆り。へんくとまも
 ありうり。年ばのいめうりうて。じゆるや
 あくまひあくれば。ざくまくやし。わく。志
 がく。もつぶ。さくらまくと。じゆるや
 おと。やく。じゆるや。づく。まく。おと
 の口。めく。おと。づく。まく。おと。おと
 やく。おれ心ざくらの。年ばと心あくで。わく。と

ぐ。まくら。と。あく。まくら。ゆす。おと。おれ
 有ねち。と。うす。おや。まくら。わく。まく
 あれば。が方。まく。おと。わく。まく。おと。おれ
 あれど。ちよのう。まく。あく。あく。ちの。おと
 う。も。まく。まく。う。と。う。わく。まく。おと。
 さて。六本院の。れいそき。おと。の。れいそき。
 といの。う。と。あれ。おと。おと。おと。れいの。れい。
 まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
 まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
 まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。

わす事なかつてゐりぬとあり。ガラスの
日のあらはるもあらずので、人にはゆくのやうに
見えぬ。まよがたきをばらぐのやうに。
をのく車ひきでまくと車をへらへらく一め
さきほりゆく。それへそれとまくとまくとおどろ
ひどうしきれつまゆひあり。ゆくゆく中止のゆ
ゆくゆくゆく。時々まくまくまくまくの
まくとまんぢまくとまくとまくとまくとまく
りうちうへもうちげゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
く。その夜へのゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく

人主て。もくもくちうのむらうと。じやへあ
ひうちすまうとて。ちうすと。じゆへひつと。じゆを
きれすと。つくま。めくまをきれば。と。行。すも
さまうと。いける。ざうのせをすと。ぬいし
れど。ま。のう。ねんすゑのせちどの。じゆへゆき
ば。ざうへやど。とく。じゆ。じゆ。うれじ。うら
うらひゆて。じ。せ。ア。ち。ど。も。れ。す。じ。う。あ。り。け。い.
タ。れ。ば。そ。ち。く。る。せ。か。れ。近。房。づ。き。の。使。ハ。引。ゆ。お
き。う。う。れ。ち。を。と。出。と。あ。う。で。人。ハ。ま。り
路。町。う。う。ち。の。す。け。も。つ。ひ。ら。り。う。ぎ。と
今。
准光瓶

うもかくのひとあきまへばうわく
うきで、嘗ねの申ね。おのちの布引え
あるひのうちうちとすわくれをはしら
せ中うちれじ、やんとあきまよまくまう
詰めを、おほり、すうじうきく

あらうやまのくよくうわばり
くまともあらうよけられ、あさまとあるを、
ゆうすくよまくぬづきを、おほきとひりん
とおさげ、車のくわぐれぐ

てもうかくよまのくわぐれぐを、
うりへやまくよまのくわぐれぐを

三四

美根
内約もとおもむかすが、おもむかすが、
まつりよがのくわくひをくわくよあぐく
くくもえそひまくひはくよくわくよくわく
笠上
れいりうこよかくよかくよかくよかく
あすあすがくものくわくよかくよかく
れいへもえそひまくひをうげくわん。このれい
よよ。今ハやくうかくよかくよかくよかく
えん。うぐ心ざれまくもあひうぐとゆくひ
あうひ。このゆりよかくよかくよかくよかく
あうひ。このゆりよかくよかくよかくよかく

ワタリの心を覺へれども、わが心は
えのくもの心つるさうあるふを、わざくも
えのくもさうは、まことに。うきやうする
まことにゆべ(通)、ゆくむすめにあはへしとおそれと
まことにわが心(通)、くわくわくひの爲めも、
まことにわが心(通)、くわくわくひの爲めも、
人の心(通)、まことにわが心(通)、くわくわくひの爲めも、
とおもふ。くわくわくひの爲めも、まことにわが心(通)
おもふ。まことにわが心(通)、くわくわくひの爲めも、
まことにわが心(通)、くわくわくひの爲めも、

あやこさへつるべとづきのまへる
すゞしきにせりゆきのまへて、わがく
かくとけ行はつて、うめく地ゆゑ
のまへのちうくじゆとのまへを
トもむかへつめくをのづくとてのまへ^{ゆゑ}
ふそくあゆみやうむすめかへつまくありかく
えいがまくわゆれるうひとゆかへる
ゆづけてもへゆづくまへうまくかへる
よもやゆづくまへゆづくまへる
ゆゑこのまへひづきあんあぬくももくもん

物一ひとつ。二日すくそでぞうへ、まつてまきぬ。
まちうるうてまうおれ。れをめうりくくあび
おげらめよん。年月のゆきもあられぬれば。
うとくまくへて、へゆうまくやじうりう
のゆく。地ゆくまく。ゆくもむくとけめくもくめ
あめく。またもくもくひくうけひくあめくべくも
くもくのゆく。又ゆく。ゆくもくひくあめく
くくもく。ゆくもくひくあめく。ゆくのゆくも
くもく。ゆくもくひくあめく。ゆくひくあめく
くもく。ゆくもくひくあめく。ゆくひくあめく

思ひ出づておどりてのつまむるをかく
て、車ちとやうされりて、おれの心ありとぬり
て、あらぬとぞひくさうとすらう力のゆく
あり。つまうけげひおちやうあれ有ぬを、
身のうちへとまするも。酒のこゑ、まねく
川のゆきとそぞりけり。年ばとうけよあじと
うづきとくとくとくとくとくとくとくとくとく
のべおこへり。それとくとくとくとくとくとく
とくのゆきとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

めりてはまつたはれあらわすゆく
まちきりよさうとくすま地られどくか
づりをきてもくらふるぬもあらむ
あぬほき人のわらひぬくろざくらう。〔法
事〕
もとおらうのめばまくせのじある
もとおらへつべまつりのひわらひぬくろざく
うきき。うらうあれどせようもくろざく
えくろざくらう。事おのゑも。ゆくひきくわやする
あぬよおまうぬれがれが心むらぬくでゆく。
今のはいもむげさんとおはしあう。ぬいのまくわ
あらひぬのすく。まくまく。すまおう。まくせぐ

おまえのうそて。おのづかひのうそを語る
おまえにせうりや葉のうそをあつてもうか。葉の
うそうそや。油のうそうそ。うそうそ
うそうそ。うそうそ。うそうそ。うそうそ。
うそうそ。うそうそ。うそうそ。うそうそ。

らひてちよどき。かくして、義はうつてゐる。
れすまおうり。前載さきざいともど。うつまき本ほんともあ
しゆづとおきまがびとすりがとむる。おうじよ
まうきとおきまがびとすりがとむる。おうじよ
草のうきあらうきて。うつ心ゆきうろこをあらう。
かくへたゞ。書のうとくとく。あらうめゆて。あら
あらうーせのれ。れあれれれ。あらうーせの
高たかいとおれく。人のうひそんとももぐく。
女めのざまのあはれ。うづづくべどものまうぐらふ。
さうへぐはまくひげりあらう。あらうのぼうあら
まく。うとくかとく。あらうく。あらうく。



コナ

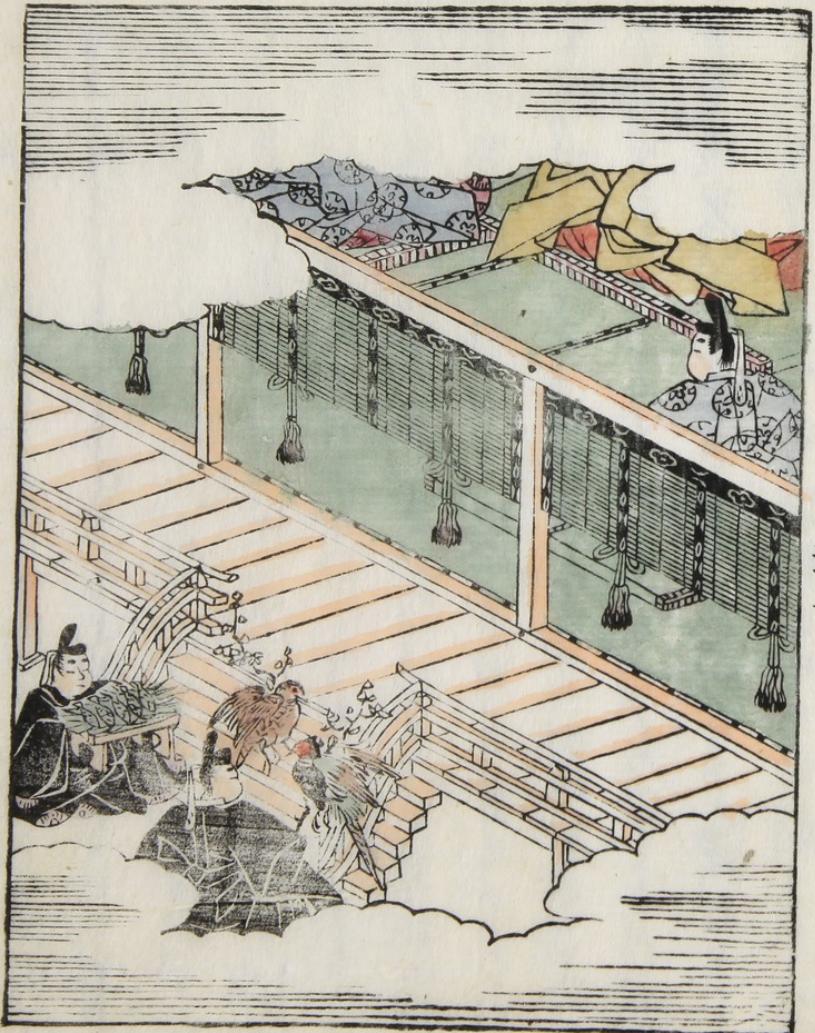
がれそひ岩よりあくしん人のゆゑ
さやかとれまみ。女志書志
あくと人のびよみすつれちてうろを
やわらつるの水。あとのゆはくよわく
うらうきであけひとに葉のあむら
まわて。わらきこ

そのまゝれどもそれによつてとの結
びのものあつまへしべもうちゆんへ
こねと云ひよき。うみの室おのめれ
づれとおげとてまむかくまうねま。

ももく松のすゑぐわへべぢもやうのすぢよ
写わづきを。中納言ハ向くとゆふどが志モ
あつまく御もてあくまで。うとうとうら神事か月の
女日あまうのゆくよ。六条院ヨリまわり。御紫乃
さうりよて。けうあくべうびのとよこあくよ。朱雀
はるかまくそこありて。院えへひづりおります

へくればせよをべりて。わう。まことうて。
よのぐもそろせおどろうす。あくべの後(は)くわよ。心
をひく。かきあやかうかうまうひとまくせぬ。
この時よりまわって。まつじまごの後(は)く。左右内
のゆびのひきをまぐで。左右の手傍うちまひ
たる。かねの内(うち)のうちよあやめよれどくくへ
くらぶアラマダム。これのえん(えん)めうひを
おりまよ。うちのねそり。ワニ。おひら。おひら
あひ。あひあひ。あひ。あひ。せん。やうをひき。左
から。まわのうひのゆき。虎の轍(わだ)をひき。

物をうながすとまことにあらへぬとおれども
あらう。つまむてゆくとあられどすゞとおれ
うちのけふじうはやんぶのまぢひげとも
とくねど、のゆきへん心こゝとなりを。中の
うのべせくびー中門ちゆうもんとくみそく。うちのふくで
きてゆく。まよひゆき度ゆきどすくらひておほ
きのれ度れどすくらをゆきゆきくちをゆき
ゆき。うでくわくわれど、まよどれゆきあり
やくまきゆきゆき。まよめりゆきあらとく
まよばげゆきゆき。たのゆきうきへての
くさひのかゆまうづくまくわく。まくわく



つるをなのきりそげてさんせのひんざうり。
おまくよづのひじりのひじりそぐり。へも

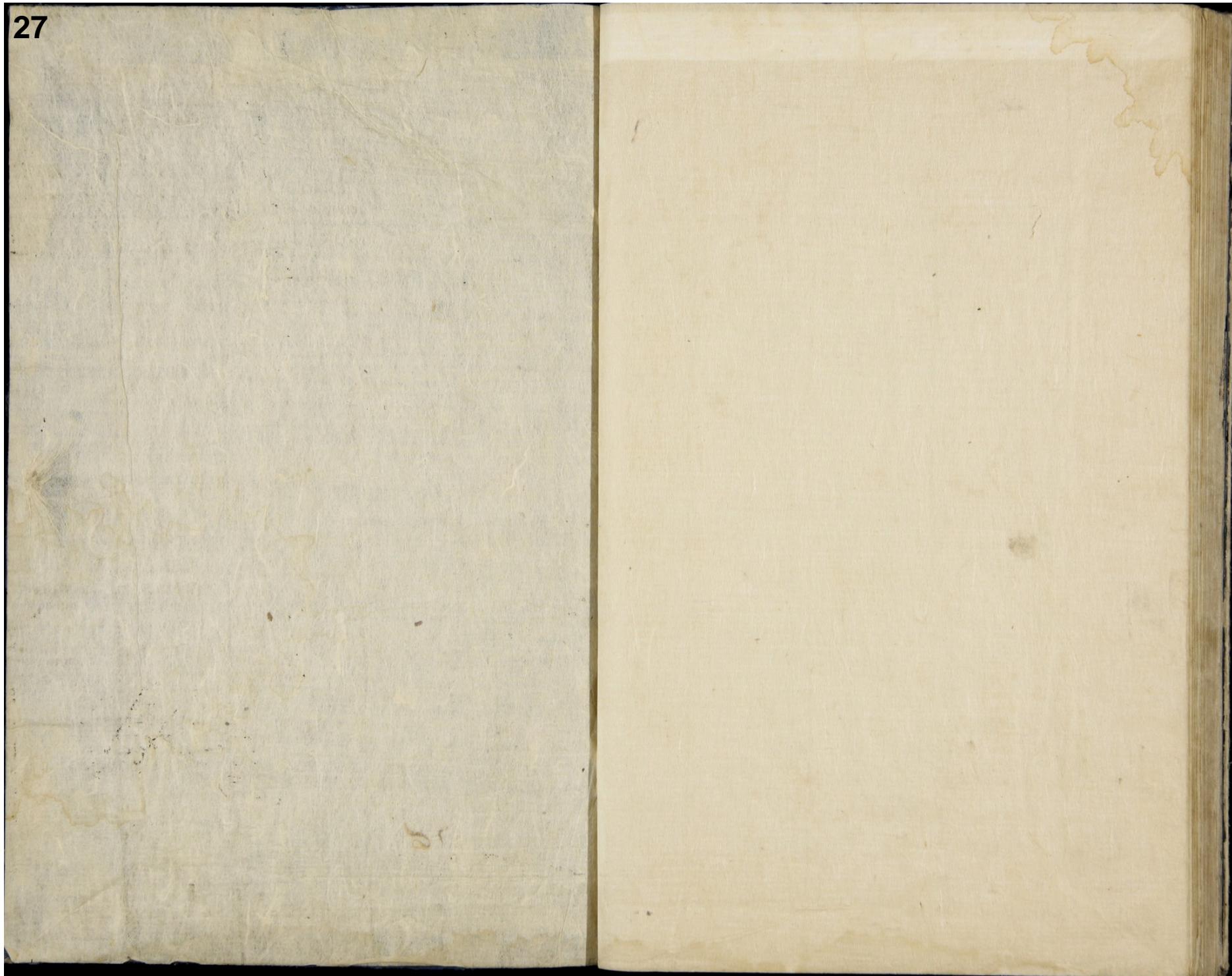
つるそぐり

又まことにあらうの事もあらへよ御行つた
おとこよ。おどこのおりはもう一舞ようち
おびきよ。されば人にはそれがよしとへる
事ある。さてこのまことによううりげに御行つ

のひくひくへぐりあわせとまくす。うる
めどきはのよ舞川。政葉のげくす
のくす。日のくすもゆきげくす。がくす。
がくすくすへくす。のぬくびくす。
かじのくすのくす。もす地のけくす。うちす。
ゆくす。あくす。れくす。まくす。うくす。
のくす。おくす。年齢院へくす。くゑす。
くす

未審

然をくす。時々すくめくまくべもく。まくらの
おまくら。まくら。まくら。まくら。まくら。
まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。
ひくひくのくす。まくまく。まくまく。
まくねばくのくす。まくねばく。まくねばく。
えくねばく。まくねばく。まくねばく。まくね
ばく。まくねばく。まくねばく。まくねばく。
まくねばく。まくねばく。まくねばく。まくね
ばく。まくねばく。まくねばく。まくねばく。
まくねばく。まくねばく。まくねばく。まくね
ばく。まくねばく。まくねばく。まくねばく。
まくねばく。まくねばく。まくねばく。まくね
ばく。まくねばく。まくねばく。まくねばく。



28

